

第1回金山駅周辺まちづくり構想懇談会 議事要旨

○日時：平成27年6月15日（月）9時30分～11時

○場所：市役所西庁舎12階 第18会議室

○参加者：別紙参照

1. 資料1について

発言者	内容
松本委員	単身者の住宅が多いと説明があったが、単身者の職種は分かるか。
事務局	昨年度の調査では行っていないため分からない。
交通局 電車施設課長	平成13年に策定された構想のできている部分とできていない部分を踏まえ、なぜ、できなかったのかの理由・背景等と今後の整備について具体的な考えがあれば教えてほしい。
事務局	今後も都市計画に関することやアスナル金山などの大きな事柄も含め検討していきたいと考えている。
鈴木委員	金山駅北口地域の広がり弱くなっているということだが、資料1の31ページに記載されている都市計画道路はすでに整備されているが、今後地域への広がりを考える場合は工夫が必要だ。懇談会ではこのレベルまで議論するのか。
事務局	懇談会では構想までだと考えているが、構想ができた後の取組みについてはそういったことも考えていきたい。
名古屋鉄道	対象範囲を決めた経緯を教えてほしい。今後検討を通して対象範囲が広がる可能性はあるか。
事務局	対象範囲の線については、決まったわけではない。金山駅周辺で動きがある地区ということで線を引いた。対象範囲が変更になることも今後考えられる。

J R 東海	名古屋駅では昼間の人口が多いと思うが、金山ではどうか。
事務局	昨年度の調査では調べていないので今後追加していきたい。
松本委員	乗降客数が 41 万人から 43 万人に増加している理由はあるか。
J R 東海	理由は分からないが、J R 線単体でも乗降客数は増えている。経済が良くなってきていることも影響していると思う。
名古屋鉄道	名鉄も利用者が増えている。特に定期利用者の増加がみられる。
前川委員	熱田神宮までは地盤が良いと聞いているが、金山はどうか。
事務局	金山も地盤は良いと思っているが、昨年度の調査項目で抜けているので、今後調べていきたい。
緑政土木局 企画経理課（主査）	前回の構想の中で、実行できなかった項目（市民会館建て替え、古沢公園整備等）について具体的な整備計画はあったのか。
事務局	具体的な整備については聞いていない。
松本委員	対象地区の緑被率は約 6%だが、名古屋市全体の平均はどの程度か。
緑政土木局 企画経理課	具体的なデータは持っていないが、市内全域で緑被率は減少傾向にある。緑が少ない地域で、歯止めをかけていけたらいいと思う。
交通局 資産活用課長	緑被率については、平成 22 年度で市内全域の平均は 22.6%である。
交通局 電車施設課長	アスナル金山は今後存続するのか、それとも取り壊すのか。
事務局	金山のまちづくり構想を考えるなかで検討していきたい。

2. 資料 2 について

発言者	内容
松本委員	まちづくりを語る会の参加者について教えてほしい。
名古屋 まちづくり公社	地域住民や地権者、周辺事業者などが参加している。
松本委員	名鉄やＪＲも参加しているのか。
名古屋 まちづくり公社	第１回目には参加いただいていないが、金山橋連絡協議会で金山駅の駅長さんにはご案内させていただいている。
住宅都市局 都市計画課長	第６回目の懇談会で構想（素案）の取りまとめとあるが、構想の素案から成案にしていくプロセスは、こういったイメージ・スケジュール感を持っているのか。
事務局	懇談会では構想の素案をつくりたいと考えている。その素案を行政で案にした後、行政内部の手続きを行い構想にすることを考えている。 スケジュールについては、一年で行うのは厳しいところもあるが、取り組んでいきたいと考えている。
前川委員	構想の素案はコンセプトをまとめるのか、それとも５年や１０年などのスパンをまとめるのか。
事務局	構想の内容については議題４にて説明したいと思う。ただ、計画のスパンについては、オリンピック開催とリニア中央新幹線開業を節目として取り組んでいきたいと考えている。

3. 資料3について

発言者	内容
防災危機管理局 主幹（広域連携）	住宅都市局の他の部署でも帰宅困難者についての取組みを行っている。企業や学校に通う関係者については、それぞれのところでは対応をお願いしている。また、買い物客についてどうしていくのか議論しているが、ハード面で退避施設の確保が課題となっている。今後、構想で商業施設が増えた場合は金山への来場者も多くなると考えられるため、帰宅困難者が発生した場合の退避施設の確保についても考えていただきたい。
松本委員	公の施設で対応していかなければならないのではないかな。
事務局	今後の検討に考慮していく。
交通局 電車施設課長	基本方針の乗り継ぎ利便性の確保について具体的な課題があるのか。
事務局	具体的な案についてはまだないが、構想を考えていくうえで考慮したいと思っている。
前川委員	名古屋駅や栄との差別化で芸術と文化に力を入れてほしいと思う。また、中部国際空港の玄関口であることも活かし、観光もコンセプトに入れてはどうか。
交通局 資産活用課長	市民会館は具体的に触れられているが、理由はあるか。 また、対象エリアには入っていないが金山には昔ながらの町工場や金山神社がある。このような歴史的な資産も対象範囲に含めてはどうか。
松本委員	伝統・文化も含めていかななくてはいけないと思う。外国人の方にも金山にぜひ来てほしいと思う。事務局はどうか。
事務局	方針について抜けている部分もあると考えている。 市民会館については特に意識しているわけではない。
市民経済局 文化振興室長	市民会館については、老朽化が進みバリアフリーに対応できていない状況である。また、建替える場合も利用者が多いことや1500人規模のホールが減ってきている現状を踏まえると、現地建て替えは難しいと考えている。利用者からすればホールが駅近くにあるのは利点だが、名古屋市全体で考えた時に周辺地域への広がりについても考えなくてはいけない。

松本委員	基本方針で住宅について抜けていると思う。単身者だけでなく家族についても考えてほしい。住んでいる人がいれば、人も集まってくる。住環境が良くなれば、その地域で住むことができ、働くこともできる。
鈴木委員	都市機能の連携とはどういったことか。また、人が集えるような空間について基本方針からは読み取れないが、建物だけでなくその他の空間についても考えられるといいと思う。
事務局	差別化については、名古屋駅や栄とは街の目的が違うと思われる。今ある金山の特徴をさらに良くしていきたいと考えている。 連携については、差別化ができた後に名古屋市全体でそれぞれの地域がまわっていくようなことを考えている。
前川委員	名古屋市内の新築オフィスの賃料は、名古屋駅 3～4 万円/坪、栄 1 万 5 千円/坪である。しかし、金山は新しいビルがないためデータを取ることができない。金山で 1 万/坪のデータがとることができたとしてコストパフォーマンスが悪い。新築ビルがあればオフィスも入るかもしれないが、古くなれば難しくなる。栄や伏見には中古ビルの空きが多くある。 ゆとり世代は、人と繋がりたいという気持ちはあるが、IT 関係で繋がるため、お金を使わない。先ほど話で出ていた庶民性についても考えたい。 住環境を考えると難しいが、文化について野外ステージがなく人が集まり遊ぶ場所がない。
松本委員	対象地区内の道路で交通量が少なければ歩行者天国や屋台、オープンカフェの設置などが考えられ、回遊性を向上させることができればいい。
交通局 主幹（企画調整・外郭 団体）	金山はアスナル金山の野外ステージのイメージが強く、この野外ステージは活かしていきたい。また、金山は安い飲食店も多く、若い人や仕事帰りに行く人も多いと思う。このようなにぎわいも活かせるといい。
名古屋コンベンション ビューロー コンベンション部長	国際会議場のVIPを案内できる国際的チェーンの高級ホテル（マンダリンとか）があるといいと思う。 金山駅にある観光案内所を今後どうしていくと良いか考える材料になるので、セントレアから入った金山駅の利用者がどれぐらい増えたのか、データがあれば教えていただけないか。

名古屋鉄道

セントレアができてからの利用者のデータがあるので、開示できるものについては行いたい。